

「著者」×「編集者」×「デザイナー」がチームでゼロから紡いだ作品を音声で新たに表現
2泊3日の合宿型小説創作イベント「NovelJam2018」
グランプリ受賞作『REcycleKiDs』をオーディオブック化

株式会社オトバンク（本社：東京都文京区、代表取締役社長：久保田裕也）は、特定非営利活動法人日本独立作家同盟（事務所：東京都練馬区、理事長：鷹野凌）が開催した2泊3日の合宿型小説創作イベント「NovelJam2018」で誕生し、3月26日に同イベントでグランプリを受賞した『REcycleKiDs』（ふくだりようこ（著） 野崎勝弘（編） 波野發作（デザイン））をオーディオブック化することを発表します。

「NovelJam」は、「NovelJam2018」が2度目の開催ですが受賞作のオーディオブック化は今回が初めての取り組みです。オーディオブック化した作品は、オーディオブック配信サービス「audiobook.jp」のほか、当社が提携しているオーディオブック配信プラットフォームへの提供を行う予定です。ナレーターや配信日などは、今後順次発表してまいります。



オトバンクは、今後もコンテンツ創造の後押しにつながるような新たな取り組みを積極的に行ってまいります。

◆『REcycleKiDs』作品情報



- ・作者：ふくだりようこ（著） 野崎勝弘（編） 波野發作（デザイン）
- ・あらすじ：虐待、DV、ネグレクト。生まれる家を間違えた子どもたちは政府の極秘プロジェクトのもと、人生をやり直すことができる、はずだった。

ガラスケースの中に並んだ子どもたち。地域のこども館でひっそりと行われる見学会。それは子のない夫婦が虐待に遭った子どもたちを引き取るための場所。子どもを選ぶための場所。ただし、その子どもたちには普通とは違う点があった。子ども館に来るまでの記憶がすべて消されていること。「新品」の状態で引き取られていく二歳から四歳までの子どもたち。その中でひとり、一週間後に十八歳を迎えるアキがいた。十八歳になったら、外の世界へと放り出される。そんな彼女を支える男性スタッフ・シュウヘイ。

アキを引き取ってくれる夫婦は見つかるのか。

【「NovelJam」(ノベルジャム)とは】

「NovelJam」とは、「著者」と「編集者」と「デザイナー」がリアルに集まってチームを作り、ゼロから小説を書き上げ編集・校正して表紙を付け「本」にして販売までを行う『短期集中型の作品制作・販売企画』です。ジャムセッション（即興演奏）のように、参加者が互いに刺激を得ながらその場で作品を創り上げていきます。今回、NovelJam2018 で「著者」「デザイナー」「編集者」がチームとなって生み出した16点の「本」を、作品の内容・表紙デザイン・販促PRの3つの観点から審査し、総合的な評価の作品をもとに、NovelJam2018 グランプリを授与いたしました。
<https://www.noveljam.org/>

【オーディオブックとは】

オーディオブックとは、ナレーターや声優が本を朗読した「聴く本」です。耳だけで読書を楽しむため、文字を読むのが難しい方のほか、ランニング中、電車や車での移動時間、家事の最中など生活のあらゆるシーンで「ながら読書」を楽しめます。

**■ 日本独立作家同盟**

出版を革新しよう！ 著者や読者など、すべての出版に関わる人々を対象に、だれでもどこでも、デジタル・ネットワーク技術を活用した、革新的で自由な出版活動を行える、豊かな社会づくりに貢献する団体です。URL : <https://www.aiajp.org/>

**■ audiobook.jp (オーディオブックドットジェイピー)**

株式会社オトバンクが運営する、日本最大のオーディオブック配信サービスです。2007年より配信を開始した「FeBe」からリニューアルし、2018年3月よりサービスを開始。現在約 23,000 本のコンテンツを配信し、オーディオブックの 카테고리 普及に向けてプラットフォームの拡大を目指します。
URL: <https://audiobook.jp/>

**■ 株式会社オトバンク (本社：東京都文京区、代表取締役社長：久保田裕也)**

音声コンテンツを中心とした事業を展開し、「聞き入る文化の創造」「目が不自由な人へのバリアフリー」「出版文化の振興」の達成を目指している、日本最大の配信数を誇るオーディオブックカンパニーです。500社以上の出版社様と提携し、主な事業として、日本最大のオーディオブック配信サービス「audiobook.jp」でのオーディオブック販売をはじめ、オンラインブックガイド「新刊JP」(<http://sinkan.jp/>)を中心とした書籍のプロモーション事業も行っています。
URL : <http://www.otobank.co.jp/>